

## 平成 30 年度 SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 総会 議事録

日時：平成 30 年 8 月 26 日 (日) 9:00～10:00

場所：姫路市市民会館大ホール

出席者数：141 名

### プログラム

平成 30 年度 SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 総会

#### 報告事項

1. 会長所信表明
2. SPRUC 活動報告
3. 評議員会報告

#### 審議事項

1. SACLA-UC との連携強化
2. 規則改定

#### 連絡事項

今後の予定

SPRUC 2018 Young Scientist Award 受賞式、受賞講演

平成 30 年度 SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 総会

議題：

#### 報告事項

##### 1 会長所信表明

会長から会長挨拶を兼ね平成 30・31 年度活動方針の説明があった。分野融合の推進、SPring-8 将来計画へのボトムアップの提案、SACLA-UC とのサイエンスの議論の必要性、SPring-8 の成果の情報発信強化、SPring-8 シンポジウムの重要性等について言及があった。合わせて SPRUC 組織、特に顧問の位置づけ、および顧問会議の設置について説明があった。

##### 2 SPRUC 活動報告

###### 2.1 行事幹事報告

###### 2.1.1 第 18 回 SPring-8 夏の学校

開催期間、無事終了したこと、後援事業であること等が報告された。

###### 2.1.2 SPring-8 シンポジウム 2018

共同主催であること、開催期間、事前登録数が 320 名以上等の報告があった。

###### 2.1.3 第 2 回 SPring-8 秋の学校

共同主催であること、開催期間、準備状況、夏の学校との違い、SPRUC の研究会から推薦したグループ講習が実施されること、46 名の申し込み数と社会人が 20 名を占めたこと等が報告された。

## 2.2 会計報告

### 2.2.1 SPRUC 会計

平成 30 年度の SPRUC 予算執行状況の報告があった。

### 2.2.2 SPring-8 シンポジウム会計

SPring-8 シンポジウム 2018 の予算執行状況の報告があった。

会計幹事報告を受け、庶務幹事から全体として順調に進んでいるとの発言があった。

## 2.3 利用委員会報告

### 2.3.1 研究会開催状況

利用委員会委員長から開催件数について言及があり活発な活動が行われているとの所感がのべられた。旅費に関する規定が変更になっており確認の上、申請するようにとの発言もあった。

### 2.3.2 分野融合型研究グループ

利用委員会委員長からナノデバイス科学グループが二期目の後半に入ること、実用グループが 2018B 期から二期目に入ること、課題の採択が決まったことが報告された。

## 3 評議員会報告

庶務幹事から評議員会での議論の中で総会審議事項に関わる部分について概要の説明があった。会長選出方式の「評議員からの互選」から「評議員会での決定」への変更、利用委員会の顧問について会長の諮問機関としての位置づけ変更と顧問会議の設置、SACLA-UC との連携を強化の三点等が承認された旨、報告された。

報告事項全体についての質問の有無について庶務幹事から確認があったが、質問等の発言は無かった。

### 審議事項

報告事項で説明のあった前日の評議員会で承認された SACLA-UC との連携強化について会長および庶務幹事より、以下の説明があり承認された。

#### 1 SACLA-UC との連携強化

SPring-8 の利活用研究と SACLA の利活用研究の相乗効果によるより良いサイエンスを目指す上で、SACLA-UC 会長も含め、SPRUC 内に SACLA に関する議論を行う SACLA 利用委員会を持つことが好ましいという考えであり、この立場から本提案を行うことになったとの経緯等が紹介された。利用委員会の位置付けについて組

織図で説明があった。合わせて利用委員会の顧問が会長の諮問機関として顧問会議に変更になることにも言及があった。

本説明に対して質問等はなかった。

拍手により本提案が認められた。

## 2 規則改定

会則改定案について説明があった。改定のポイントとして、目的、活動、会員に関する条文にある「SPring-8」の表記を組織に関わる場合と会員に関わる場合のそれぞれで「SPring-8 および SACLA」「SPring-8 もしくは SACLA」に変更すること、会長選出方式の変更、副会長を3名へ増員、役職に「顧問」を設けること、顧問の選任、任期等に関わること、顧問会議の設置と運営に関する事等が挙げられた。合わせて施行に関する付則案も説明された。

本説明に対して質問等はなかった。

拍手により本提案が認められた。

総会での会則の変更を受け、前日の評議員会で承認済みの細則の変更箇所について、庶務幹事から報告された。

## 連絡事項

### 1 今後の予定

評議員選挙、特別総会等について日程が示された。

ここまでの全体を通しての質問等の有無の確認と会場から発言等はなかった。

## SPRUC 2018 Young Scientist Award 授賞式、受賞講演

SPRUC 2018 Young Scientist Award 授賞式と受賞講演が開催された。両宮選考委員長から選考過程、受賞者と選考理由の紹介があった。受賞者は齋藤 真器名 会員（京都大学）と山下恵太郎 会員（東京大学）であり、各々受賞研究題目は「ガンマ線準弾性散乱法の開発とその応用研究」、「微小結晶タンパク質 X線結晶構造解析におけるデータ処理システムの開発」であった。受賞者紹介の後、会長から賞状と副賞が授与された。引き続き受賞講演が行われた。

以上